

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぼけっと船橋飯山満教室
公表日	2026年 1月 20日

利用児童数 39 回収数 33

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	1			模様替えて狭くなったように感じます	ご意見をもとに検討いたします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	32			1		職員の配置をより充実出来るように採用活動に力を入れていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32	1			以前ドアに手を挟んだことがあるので、安全により注意いただけるといいと思う	事案以降、全てのドアの危険箇所のカバーを強度を上げたものに交換し、再発防止研修を定期的に取り入れています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	1			先生のスキルによると思います	引き続き職員の能力、資質向上に努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32			1		公表しているプログラムの周知を広げていきます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	1				引き続き、利用者様お一人お一人に合わせた個別支援計画の作成と具体的な支援内容に努めます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32			1	子供の苦手なことが上手に変わってきていると感じます	引き続き個別支援計画に則った支援を行い、保護者様にご案内を行います。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	2			子供が集中して行える活動を色々取り入れてくれる	引き続き個別支援計画に則った支援を行い、利用者様に合わせた支援を行います。
保護者 への 説明等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	4	9	7	在園中の保育園との連携が少ない気がします。もう少し保育園での様子も見ていただけると助かります。	現在、多くの保護者様から、園様へのご訪問を承っており、引き続きご満足いただけるような頻度での訪問を継続してまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32			1		管理者、児発管にご利用にあたっての丁寧なご案内をできるように指導してまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	4	4	6	研修会の内容が共有されていないため、もしそういったものがあれば教えていただくと助かります	引き続き、ご家庭でも実践できるお子様との関わりのご案内などに取り組んでまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	33					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33				普段の様子など相談しやすいです	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	5	6	8	14	他の保護者との交流がないため、悩みの共有ができる場があればいいと思います	これまで、イベントのような形での機会は、設けておりませんでした。今後検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	2			こんなことがありましたと相談したことのフィードバックがないこともある	適宜、ご相談いただいた内容についてフィードバックを継続し、未回答が無いように体制づくりを強化します。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	1				ご家庭でも行える関わり方についての支援をこれまで以上に強化してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	3	1	13		Instagramを開発しておりますが、積極的な周知は控えておりました。今後は、情報発信の頻度を上げる取り組みを進めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	1		1		個人情報に関する取り扱いに対する取り組みを掲示物で周知いたします。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	1		8	訓練はされているかもしれませんが、報告がないため報告いただけると助かります。マニュアルもいただいていないかと思しますので、共有していただけるとありがたいです。	弊所では、マニュアルは保護様が常時閲覧できる状態で管理しており、避難訓練等の実施についても連絡帳及び、口頭でご報告いたしておりますが、引き続き認知向上に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1		14	同上	同上
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	2		1	同上	同上
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	1		2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	33					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31	1		1	・てらびあの日朝からとても楽しそうに待っています。 ・"今日は何曜日？"と通所を楽しみにしています。 ・いつもありがとうございます。楽しく通ってくれています。	・全ての利用者様が、弊所に来所することを楽しみにしていただける事業所運営と、人材育成、環境整備に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	33				大変ありがたく思っています。	

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名		てらびあぼけっと船橋飯山満教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		段差を作ることがないように教室を設計しています。セラピーの視覚化を図り、マジックミラーを使用してセラピーを阻害せずに、様子を見ることができるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		事前に防げる受傷予防の措置を引き続き取り組んでいます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別指導訓練室を3部屋準備しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月の目標設定を実施し、フィードバックを行い、職員の技能向上に努めています。各種研修に積極的に参加を促しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日頃より、職員には改善点の洗い出しをしてもらい、業務改善に反映させるようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は未実施であり、今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修参加を積極的に推進し、技能向上に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		825項目のチェックリストを用いて、アセスメントを行なっています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のぬらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			ご希望される保護者に合わせて連携を行なっています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		これまでこのような機会は設けていなかったが、取り組みについて開始し、地域の保育園で実施予定。現在立案中です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		利用ごとに、保護者へ情報共有を行なっています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ケーススタディの動画を視聴していただいています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		このようなイベントのようなので形での機会は積極的には設けていませんでしたが、保護者様のご要望を鑑みた上で今後検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		センシティブな部分なので、保護者様のご意見を賜りつつ今後検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食事提供をしていないため、評価対象外と考えています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			ヒヤリハットがあった際は、記録を残し、職員全員に共有し、再発防止策の検討と対策をとっています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			年1回以上で虐待防止委員会を開催しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			年1回以上で身体拘束に関する研修を開催しています。

## 事業所における自己評価総括表

公表			
○事業所名	てらびあぼけっと船橋飯山満教室		
○保護者評価実施期間	2025年 10 月 1 日 ～ 2025年 10月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	2025年 12 月 1日 ～ 2025年 12月 10 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1 月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様のご要望や利用者様に合わせた支援計画を作成し、その内容に沿って療育を行っていることが、ご利用いただいている方の支援に満足いただいているという、ご回答いただいた結果につながっていると思われます。	お子様には教室で過ごす時間が楽しいものであるよう全職員協力して支援しています。保護者様のご要望はできる限り迅速に対応し、何か困ったことなどないかなど様子をみたりしています。	職員一人ひとりのセラピーに関するスキルをより深めるために、積極的に研修参加を推進してまいります。
2			
3			
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域へ向けた発信などを積極的には行っていない。	地域へ向けた発信を教室として取り組もうとは考えていない。	保護者様のご要望や実態を踏まえた形で地域発信について継続して協議していきます。
2	保護者同士の交流の機会（イベント）などを積極的に設けていない	教室としては、センシティブな部分での配慮が必要な保護者の保護を鑑み、これまで積極的に交流の機会（イベント）などは行なっていなかった。	今回のアンケート結果をもとに、保護者様の交流の機会になる施策について検討をする。
3			